学校番号	４１５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　日本史Ａ　（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史　（浜島書店出版）・復習と演習日本史Ｂテスト（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は暗記科目ではない。歴史に興味関心を持ち、因果関係などに注意しながら流れを理解して、面として歴史を構造的に把握することを意識する。歴史を覚えるのではなくて、歴史を通じて社会を学ぶという姿勢を持つこと。そのために、予習→授業→復習→演習という学習サイクルを確立しよう。

２　学習の到達目標

１．日本近代の歴史をふまえ、近現代史 を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化を理解する。
２．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
３．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：資料活用の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業観察 ワークシート	定期考査 課題レポート	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 ワークシート 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1学期	近代国家と社会の形成	・世界と東アジア ・近代国家の誕生 ・近代社会の形成	○	○	○	○	a 欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程を理解している。 b 欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 c 欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化等、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	授業観察 定期考査 ワークシート 小テスト
	二つの戦争と大日本帝国	・日清戦争と日露戦争 ・帝国形成期の社会	○	○	○	○	a 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開を理解している。 b 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 条約改正や日清・日露戦争の対外関係の変化、産業革命の進行、社会の問題発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	授業観察 定期考査 課題レポート 小テスト

	帝国とデモクラシー	・大正デモクラシー ・ヴェルサイユ体制とロシア革命	○	○	○ ○		a 第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーのはじまり、日本の植民地の動向など、1910年代の近代史の展開を理解している。 b 第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーの展開、日本の植民地の動向など、1910 年代の近代史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーの展開、日本の植民地の動向など、1910 年代の近代史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 定期考査 ワークシート 小テスト
2学期	デモクラシーの展開と帝国の変容	・都市化と市民文化 ・東アジアの情勢と恐慌	○		○ ○	○	a 大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920 年代の近代史の展開を理解している。 c 大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920 年代の近代史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 d 大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920 年代の近代史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 定期考査 ワークシート
	アジアの戦争と第二次世界大戦	・日中 15 年戦争 ・アジア太平洋戦争		○ ○	○	○	b 満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開を理解している。 c 満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d 満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 小テスト

	現代日本の源流	・戦後世界と日本 ・冷戦と日米安保体制	 ○	○	○ ○		a 国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50 年代の社会と文化など、50 年代までの戦後史の展開を理解している。 b 国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50 年代の社会と文化など、50 年代までの戦後史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50 年代の社会と文化など、50 年代までの戦後史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 定期考査 課題 レポート 小テスト
3学期	冷戦のなかの経済成長	・高度経済成長下の日本 ・経済大国	○	 ○	○	 ○	a 日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の展開を理解している。 b 日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 c 日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟，家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 課題 レポート

	現代の日本	・転換した世界のしくみ ・現代日本の課題	○	○ ○	○	 ○	a 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向を理解させる。 b 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 c 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 定期考査 ワークシート 課題 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。